

# 事業報告書

自 2013 年 4 月 1 日  
至 2014 年 3 月 31 日

公益財団法人日本学生航空連盟

2013 年度事業計画並びに事業結果

<p><b>I. 基本方針</b></p> <p>「青少年の心身の健全な発達と航空文化の発展に寄与する」と云う連盟の目的を達成するため、公益財団法人として2年目に入る、2013年度はグライダーの安全運航、安定経営を実現するために以下を基本方針として連盟の事業を進める。</p> <p>1. グライダーの安全運航を最優先し、安全教育を徹底する中で、訓練飛行、競技飛行の指導を行う。</p> <p>2. グライダースポーツの公益事業を進めるに当たり、① 地区法人との更なる連携強化、② 地区連絡会、特に学生委員会の機能強化、③ 加盟校会員増、賛助会員増、協賛企業増、の三点を進める。</p> <p>3. 全国組織団体として活動一体化に向けて、理事会、地区連絡会協議会、その他会議を通じて、現場と本部とのコミュニケーションを高める。</p>	
<p><b>II. 公益事業</b></p> <p>1. グライダースポーツの教育訓練とそのための安全な教育訓練システムの維持</p> <p>(1) 訓練所運営</p> <p>① 妻沼、木曾川、白川、久住各滑空場と福井空港の5ヶ所で訓練所を運営し、必要な保守を行う。</p> <p>② 滑空場(妻沼、木曾川、白川)の占有許可申請に必要な対応を行う。</p> <p>③ 滑空場諸施設(宿舍、会議室、格納庫、滑走路等)の管理を地区法人へ業務委託する。</p> <p>④ 共用機材の訓練用滑空機、曳航用ウィンチ、車両、重機などを地区法人へ業務委託する。</p>	<p>飛行実績等 資料 1</p> <p>詳細 資料 2</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p>
<p>(2) 訓練指導</p> <p>① 各訓練所の情報を集約し、安全・効率的な訓練指導を行う。</p> <p>② 必要に応じ指導員(飛行、整備)を各地区へ派遣する。</p> <p>③ 操縦教育証明資格者、連盟認定指導員を育成・任命し、学生指導教官を増強する。</p> <p>⑤ 操縦飛行経歴を保有し、飛行に空白期間がある指導員に復帰プログラムを提供する。</p>	<p>通達指導</p> <p>全国大会へ派遣(3名)</p> <p>教育証明2名(東海・関西)、認定指導員63名</p> <p>依頼者に継続実施</p>
<p>(3) 航空従事者指定養成施設の運営</p> <p>① 自家用操縦士を年間36名目標に育成する。また、CAB受験者等を別途15名育成する。</p> <p>② 事務局がコース運営のための指導員、機材などのスケジュー</p>	<p>指定養成人数22名(67%)</p> <p>CAB 15名、海外2名</p> <p>2013年度8期実施</p>

<p>ール調整を実施する。</p> <p>③ 各校合宿時のコースと年間4回の専用合宿コースを設定する。</p> <p>④ 利用手続き簡素化、料金体系の整理を進め、資格取得希望者90%以上のカバーを目標とする。</p> <p>学科、実技教官、技能審査委員の新規任用と再任用を進める。</p> <p>⑥ 航空従事者指定養成施設関連規程の更新管理</p>	<p>専用合宿コース1回開催 他は大学合宿内実施 料金体系整理し、一律15,000円、希望者の100%カバー 教官4名育成プロセス中 6月、7月に実施</p>
<p>(4) 安全管理・教育</p> <p>① 安全情報(ヒヤリハット)を各滑空場から収集し、情報共有化体制を強化させる。</p> <p>② 安全管理規程を周知すると共に、事故発生時の対応などに必要な知識を再度徹底教育する。</p> <p>③ 安全管理指導を目的に安全会議を12月に開催する。</p> <p>④ 日本滑空協会主催の安全飛行大会に協力し、関東、関西で実施する。(9月予定)</p>	<p>教育管理担当 滑空場単位での共有化 全体では持越し案件 「安全の日」に併せて周知 11月24日実施(妻沼) 雨天のため未開催</p>
<p>(5) 指導員等の認定</p> <p>① 認定指導員講習会を開催し認定指導員を認定する。</p> <p>② グライダーウインチマンへの研修と技能確認、認定を行う。</p>	<p>教育管理担当 関東5月6月、東海/関西9月開催 継続実施</p>
<p>(6) 公共サービスの提供</p> <p>① 妻沼、久住滑空場において航空援助局(フライトサービス局)を運営する。</p> <p>② 国土交通省試験官の技能拡張訓練及び運輸安全委員会委員の体験飛行研修などを受託する。</p> <p>③ 特定操縦技能審査を学生、指導員、社会人を対象に運用を行う。</p> <p>④ その他滑空場施設等の利用希望に対して柔軟に対応する。</p>	<p>教育管理担当 継続実施 技能保持訓練&amp;体験飛行実施 各大学単位、地区単位で実施、10月関東地区審査員合同会議開催 CM撮影、芸大生作品作成協力</p>
<p><b>2. グライダー競技会の主催及び共催、後援</b></p> <p>(1) 久住山岳滑翔大会開催並びに安全祈願祭を5月に実施する。(5月17日 安全の日)</p> <p>(2) 全日本学生グライダー新人競技大会を10月に開催する。</p> <p>(3) 全日本学生グライダー競技選手権大会を3月に開催する。</p>	<p>総務担当 5月30日実施 10月開催 3月開催 本年から内閣総理大臣杯</p>

(4) 各地区競技会(全国大会予選)を開催する。	の授与を許可 10月～12月開催
(5) その他競技会、対抗戦等を後援する。 ① 国立7大学総合体育大会グライダー競技会(新規予定) ② 原田覚一郎杯大学対抗グライダー競技大会 ③ 東京六大学対抗グライダー競技会 ④ その他加盟大学競技会、対抗戦	教育管理担当 後援依頼無 後援実施 後援実施 大野ローズカップ等依頼 競技会後援
(6) 学生が参加できる海外競技会・スクール情報を収集する。	事業担当 オーストラリア事情調査
<b>3. 航空スポーツの普及啓蒙</b> (1)機関誌「方向舵」とホームページによる情報を発信 ① 空域や航空法規など官公庁との調整結果を広報する。 ② 気象、航空力学、滑翔技術などの関連技術情報、航空一般に関する知識や情報を提供する。(広報、講習会) ③ 安全情報の公開および安全飛行の啓蒙を行う。 ④ 日本滑空記章、国際滑空記章の取得を勧奨する。	総務担当 方向舵 137, 138号発行 「特定操縦技能審査」、 「実地試験細則」の変更 講習会未開催 注意喚起通達指導 方向舵に掲載
(2) 滑空場・周辺地区との交流活動 ①滑空場地域のイベント等に参加する。 ② 市民講座、親子講座など航空に関する講習会を支援する。	教育管理・事業担当 妻沼、白川地区に参加 妻沼
(3) 搭乗会と生涯スポーツの支援 ① 地元市民向け搭乗会を地域と連携し実施する。 ② 加盟校 OB 搭乗会の開催環境を料金体系も含め整備する。 ③ 地元グライダークラブなどを通じ、社会人の搭乗機会を提供する。 ④ 生涯スポーツとしてグライダー継続するための支援体制を、下記の項目を中心に整備する。 ア)生涯スポーツとして続ける人を会員登録し、グライダースポーツの最新情報、飛行機会情報などを提供及び紹介を行う。 イ)特定操縦技能審査を含め飛行や運航に関する助言を行う。 ウ)若年層の滑空活動を支援する。	教育管理・事業担当 熊谷市、熊本市 会員及び加盟団体規程の見直し 継続実施 賛助会員へ JSAL ニュース配信 特定操縦技能審査に関する資料配布 団体会員の入会

<p>(4) 国際交流</p> <p>① グライダースポーツ先進国ドイツの学生航空連盟組織と隔年相互に相手国を訪問し、人材交流を通して相互理解と知識や技術を深める。</p> <p>② 海外の国や機関との交流を検討し、学生が参加できる海外遠征、競技会情報を収集する。</p>	<p>教育管理・事業担当 持越し案件 * 2014 年度、先方と再度 コンタクト開始 オーストラリア事情調査</p>
<p><b>Ⅲ. 公益業務遂行体制と関連業務</b></p>	<p>備 考</p>
<p><b>1. 経理担当</b></p> <p>(1) 予算書・決算書(案)を作成する。</p> <p>(2) 会計処理規程・旅費規程に基づく経理処理を行う。</p> <p>(3) 保有資産の管理を行う。</p> <p>(4) 職員の給与・社会保険業務を行う。</p> <p>(5) 新橋事務所の庶務全般業務を行う。</p>	<p>総務担当と連携 継続作成 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施</p>
<p><b>2. 総務担当</b></p> <p>(1) 事業計画書(案)を作成し、関連する人事案、諸規程の整備を行う。</p> <p>(2) 学生ボランティアが事務局運営に参画する体制を更に進める。</p>	<p>全担当と連携 継続実施 継続実施</p>
<p>(3) 評議会・理事会、その他会議の開催</p> <p>① 評議員会(6月)、理事会(6月、11月、3月)の開催と関連業務を実施する。</p> <p>② 地区連絡会の活動(学生委員会、地区運営委会、航空部長会)に参加し、組織運営について地区との認識、理解のギャップ解消を図る。</p> <p>③ 地区連絡会協議会(11月)を開催する。</p> <p>④ 中央学生委員会(6月)を開催する。</p> <p>⑤ 地区運営委員会・法人とのコミュニケーション向上を目標に、ミーティングを年間2回以上開催する。(3月、7月、9月、12月を予定)</p> <p>⑥ その他の会議を主催する。</p>	<p>予定通り開催実施</p> <p>中央学生委員会、東海・関東地区航空部長会参加</p> <p>11月理事会に併せ開催 9月開催実施</p> <p>関東地区開催、他地区については訪問時ミーティング</p> <p>継続実施</p>
<p>(4) 学生組織基盤の強化</p> <p>① 学生委員会の年間のテーマとして加盟校会員数の増強を進める。</p>	<p>教育管理担当と連携 部員数の少ない大学へ「方向舵」、「カレンダー」を</p>

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年目標	
関東	335	342	327	312	350	無料配布 2013年度実績 関東:331名
東海	78	76	91	88	90	東海:86名
関西	209	178	158	169	190	関西:162名
西部	78	88	57	56	70	西部:43名
合計	700	684	633	625	700	合計:622名 持越し案件
<p>③ 学生委員会の機能を強化する。テーマ、運営について事務局がサポートする。</p> <p>④ 東海・関西・西部学生委員会へ事務局が参加する。(年間2回程度)</p> <p>④ 未加盟大学への加盟勧誘を行う。</p>						<p>関東、東海、西部の委員会へ1回参加</p> <p>明治大学の加盟</p>
<p>(5) 関連官公庁への対応</p> <p>① 内閣府、文部科学省、総務省への対応を行う。</p> <p>② 国土交通省へ航空従事者指定養成制度改正、操縦練習許可書期間等、全般について対応を行う。</p> <p>② 埼玉県、岐阜県、大分県、熊本県、福井県、熊谷市、海津市、羽鳥市、板井市、竹田市、熊本市等への対応を行う。</p>						<p>地区運営委員会・地区法人と連携</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>競技会開催時訪問</p>
<p>(6) 出版物の発行</p> <p>① グライダースポーツ手帳、ログブックを改訂発行する。</p> <p>② 共通シラバス、指定養成テキストを印刷する。</p> <p>③ 機関誌「方向舵」を年間2回発行する。(137号、138号)</p>						<p>教育管理担当と連携</p> <p>グライダースポーツ手帳を発行、テキストHP配信</p> <p>予定通り発行</p>
<p><b>3. 広報・渉外担当</b></p> <p>(1) 協賛企業並びに賛助会員の増強</p> <p>① 連盟並びにグライダー全般の広報活動を行う。</p> <p>② 個人賛助会員を2013年度は新規募集目標を200名とし、年度末300名を達成する。2015年までの募集目標を1,000名とする。</p> <p>③ 団体賛助会員又は協賛企業を2013年度は募集目標を5社とする。</p> <p>④ 賛助会員に「方向舵」を配布し魅力ある情報を提供する。</p> <p>(2) 連盟組織内広報(コミュニケーション)</p> <p>① 理事会、評議員会、地区連絡会協議会などの議事、議事</p>						<p>総務担当・教育管理担当と連携</p> <p>NHK取材等の受け入れ</p> <p>会員数ほぼ横ばい(持越し案件)</p> <p>日本航空、富士重工業、本田航空、エアバスジャパン</p> <p>方向舵2冊配布</p> <p>メール配信、ホームページ</p>

<p>録を出来る限り公表してゆく。</p> <p>② 「JSAL連絡ニュース(仮称)を年4回、四半期末に作成し、連盟の活動を地区へ連絡する。</p> <p>③ 新入部員の多い大学の新入生勧誘活動を紹介する。</p> <p>④ 「ホームページ」「方向舵」を積極的に活用する。</p>	<p>へ掲載</p> <p>年間4回作成配信</p> <p>方向舵137号に紹介</p> <p>継続実施</p>
<p><b>4. 事業担当</b></p> <p>(1) 競技会</p> <p>① 文部科学省、スポーツ振興くじ等の支援を申請する。(含指定養成)</p> <p>② 競技会全体の日程を検討する。</p> <p>③ 競技会でのGPS判定導入を検討する。</p> <p>⑤ 海外競技会参加の可能性について検証する。</p>	<p>総務担当・教育管理担当と連携</p> <p>申請承認後返上</p> <p>継続実施</p> <p>関東地区競技会、全国大会から採用</p> <p>継続調査</p>
<p>(2) 加盟校会員、賛助会員にとって魅力ある学連への新規事業、施策を検討する。</p> <p>① 学生等を対象としたアンケートを検討する。</p>	<p>学生役員を対象に実施</p>
<p>(3) 関連機材(グライダー、ウィンチ、その他)の整備・購入を検討する。</p>	<p>継続検討</p>
<p>(4) 講習会の開催</p> <p>① 会員を対象とした講習会(空域、気象、ソアリング)を東京、大阪、他で実施する。</p>	<p>持越し案件</p>
<p>(5) 滑空場・訓練所関係</p> <p>① 久住訓練所(久住町民センター)の道路拡幅工事に対応する。</p> <p>② 白川訓練所の宿舍問題を継続検討する。</p> <p>③ 妻沼滑空場開設50周年(2013年5月)事業を地区法人と検討する。</p>	<p>継続実施中</p> <p>引き続き検討課題</p> <p>方向舵の記念座談会、記念記事掲載</p>
<p><b>5. 教育管理担当</b></p> <p>(1) 連盟内活動におけるハラスメント問題の対応</p> <p>(2) 航空局への対応</p> <p>① 60条、92条の申請を取りまとめる。</p> <p>② 滑空場訓練空域を調整する。</p> <p>③ その他航空局との折衝・情報交換等を行う。</p>	<p>ハラスメントガイドラインの作成配布</p> <p>地区法人と連携</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p>
<p>(3) 滑空場別諸統計を作成</p> <p>① 各地区活動実績の年間統計表を作成する。</p>	<p>継続作成</p>

(4) 無線局の管理	
① フライトサービスの管理と無線従事者の選解任を行う。	継続実施
② HF無線局の管理を行う	継続実施

以上



事業報告書の付属明細書

資料 1

訓練統計記録表(2013年1月～12月)

		関東	東海	関西	西部	合計
加盟校数		23	9	15	11	58
部員総数		331	86	162	43	622
訓練状況	合宿回数					
	参加延人数	9367	2062	2773	345	14547
	飛行回数	19764	2561	3730	640	26695
技能証明 取得者	教育証明	2	0	0	0	2
	事業用操縦士	0	0	0	0	0
	自家用操縦士	22	17		0	39
	二等整備士	0	0	0	0	0
	二等運航整備士	0	0	0	0	0
計		24	17		0	41
各校所有 機材	使用滑空機	67	13	26	10	116
	ウインチ	6	2		1	9
	トレーラー	38	19		7	64
	無線機	134	24	32	22	212

## 事業報告書の付属明細書

資料 2

2013 年度訓練所の保守状況

訓練所	保 守 箇 所	金 額	備 考
木曾川	宿舎内装工事	1,900,000 円	改修工事
	電動盤付ブロワ交換工事	152,250 円	
	宿舎汚水ポンプ漏電工事	12,600 円	
	エアコン修理 (2 部屋)	67,095 円	
	トイレカー車検整備	75,075 円	
久 住	格納庫トイレ改修工事	900,000 円	
	格納庫修繕工事	462,000 円	
	宿舎光ケーブル引き込み	54,700 円	
妻 沼	女子部屋改修工事	96,820 円	女子部員の増加
	エアコン修理 (2 部屋)	117,894 円	落雷による破損
	” 302 号室	103,550 円	老朽化
	浄化槽、汚水蓋交換	460,950 円	老朽化
	格納庫照明、ガラス交換	94,962 円	
合 計	—	4,497,896 円	

以上